様式2

社会資本総合整備計画
「籠原駅周辺地区 都市再生整備計画」
【平成25～29年度】
事後評価シート

・籠原駅周辺地区都市再生整備計画事業【平成25～26年度】
・籠原中央第一地区都市再生区画整理事業【平成27～29年度】

平成30年3月

埼玉県熊谷市

様式2－1　評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	熊谷市	地区名	籠原駅周辺地区
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	156百万円

1）事業の実施状況

		事業名	
当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	都市再生整備計画事業	公園：籠原駅北口第1公園（仮称）、籠原駅北口第3公園（仮称）、土地区画整理事業：籠原中央第一地区
	B関連社会資本整備事業	なし	
	C効果促進事業	なし	

		事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	A基幹事業	都市再生整備計画事業	公園：籠原駅北口第5公園（仮称）	事業区域内に立地している籠原第一仮設住宅の解体時期の遅れに伴い、事業が期間内に完了しないため事業を削除	指標1、指標2、指標3に関連するが、指標への影響は少ないため、指標目標は据え置く
			事業活用調査：事業効果分析調査	都市再生整備計画事業の交付期間が平成29年度から平成26年度に変更したことにより、調査時期と不整合になるため削除	影響なし
			まちづくり活動推進事業：地区計画策定ワークショップ	土地区画整理事業の完了時期(平成29年度)にワークショップの実施を想定していたが、事業完了が平成34年度まで先延ばしとなったことに伴い削除	指標1に関連するが、指標への影響は少ないため、指標目標は据え置く。
	B関連社会資本整備事業	なし		－	－
	C効果促進事業	なし		－	－
新たに追加した事業	A基幹事業	都市再生区画整理事業	都市再生土地区画整理事業：籠原中央第一地区	「都市再生整備計画事業」より当該事業に移行した	影響なし
	B関連社会資本整備事業	なし		－	－
	C効果促進事	なし		－	－

交付期間の変更	当　初	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
	変　更	なし		

2）社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	生活環境満足度	%	17	H24	34	H29		36	○	あり	－	道路整備により交通利便性、安全性が向上した事に加え、地区内に新たな公園が複数整備されたことで憩いと交流の場が創出されたとともに、防災性が向上された。これらの整備効果が一体的にあらわれたことにより、生活環境の満足度が高まり、指標の達成につながった。	－
										なし	－		
指標2	公園サポーター制度の導入箇所	箇所所	0/5	H24	4/5	H29		4/5	○	あり	－	公園や緑地の管理運営への市民参加促進を目的とした公園サポーター制度推進事業により、制度の周知および導入の促進が図られ、それらの事業効果が地区内の公園にもおよび、指標の達成につながった。	－
										なし	－		
指標3	避難地までの所要時間	分	11	H24	8	H29	－	8	○	あり	－	道路整備により避難地までのアクセス性が向上したことに加え、新たな避難地（公園）が複数整備されたことにより、地区内における避難地までの所要時間が短縮されたことで、指標の達成につながった。	－
										なし	－		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	－	－	－	－			－	－			－	－
その他の数値指標2	－	－	－	－			－	－			－	－
その他の数値指標3	－	－	－	－			－	－			－	－

4）定性的な効果発現状況

地区内居住者アンケートにおいて、「道路整備により利便性が向上」、「公園が充実した」、「街並みがきれい」との声が寄せられている。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	実施した		－
		実施しなかった	●	
住民参加プロセス	「籠原中央第一土地区画整理だより」の発行 籠原駅北口駅前広場整備計画ワークショップの開催	実施した	●	引き続き、地区住民からの理解と協力を得られるよう、適宜発行を行っていく。
		実施しなかった		事業の進捗状況に応じて、適宜ワークショップ等を開催することにより、地区住民の意見を聞く機会を設ける。
持続的なまちづくり体制の構築	公園サポーター制度の推進	実施した	●	引き続き、快適な公園環境の維持・保全を図るため、公園サポーター制度を推進する。
		実施しなかった		

様式2－2　地区の概要

籠原駅周辺地区（埼玉県熊谷市）　社会資本総合整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：籠原駅を中心とする市街地の良好で快適な生活環境整備 目標1：市民のニーズにあった、より効果のある利便性の高い道路環境を創出する 目標2：市民と市が力を合わせ、地区の特性に合わせたまちづくりを推進し、活気ある地域コミュニティを形成する 目標3：生活に潤いと安らぎを与え、地域住民が安全で安心に生活できる防災機能を備えた憩いの場を創出する	生活環境満足度	単位：%	17	H24	34	H29	36	H29
	公園サポーター制度の導入箇所	単位：箇所	0/5	H24	4/5	H29	4/5	H29
	避難地までの所要時間	単位：分	11	H24	8	H29	8	H29
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－
	－	単位：　－	－	－	－	－	－	－



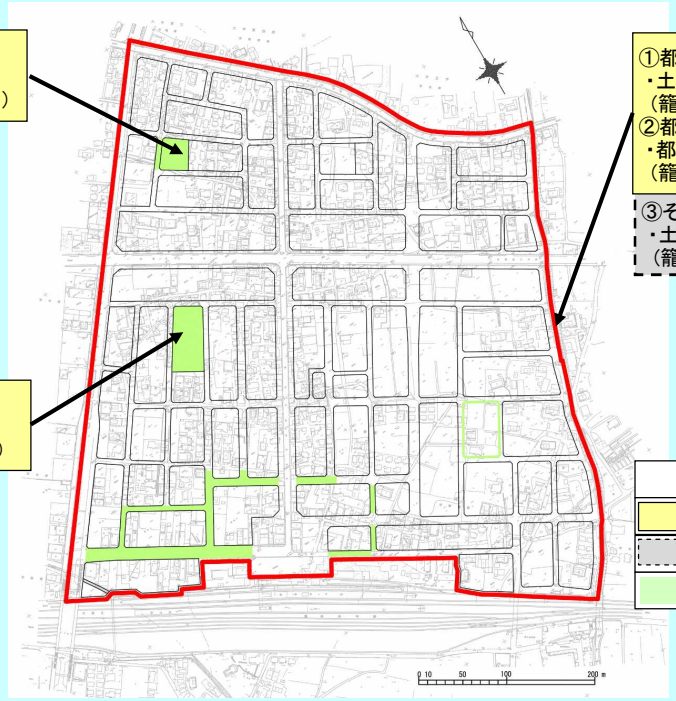
④籠原駅北口第１公園（仮称）

④都市再生整備計画事業
・公園事業
（籠原駅北口第１公園（仮称））



⑤籠原駅北口第３公園（仮称）

⑤ 都市再生整備計画事業
・公園事業
（籠原駅北口第3公園（仮称））



①都市再生整備計画事業
・土地区画整理事業
（籠原中央第一地区）
②都市再生区画整理事業
・都市再生土地区画整理事業
（籠原中央第一地区）

③その他関連事業
・土地区画整理事業
（籠原中央第一地区）



①②③道路整備

まちの課題の変化	・土地区画整理事業において都市基盤整備が推進されたことにより、住環境や防災性の向上が図られた。 ・歩行者専用道路の整備により歩行者の安全性が向上された。また、駅北口から東・北・西側の3方向へ車両の出入りが可能になり、交通渋滞が緩和された。 ・平成25年度～平成29年度にかけても、土地区画整理事業と都市再生整備計画事業が行われ、市街地形成が図られた。 ・市民と行政の協働によって公園環境の維持・保全を図る公園サポーター制度が地区内の公園4箇所で導入された。 ・避難地である公園が新規に複数整備され、防災に強いまちづくりの充実と強化が図られた。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・地区内避難地の周知を図るとともに、自主防災組織の支援を行い、地区の防災性の向上に努める。 ・交通安全施設の設置等の検討により、車の走行速度や通り抜けを抑制することで、安心で安全な交通環境の形成を図っていく。